

中目黒駅周辺地区整備計画 概要版



平成31年1月
目黒区

改定にあたって

- 中目黒駅周辺地区においては、近年、「中目黒高架下」が開業し、平成31年4月の東京音楽大学新キャンパスの開校、さらに山手通り拡幅整備の完了予定など、動的で揺がりのある街の変化が予想されます。また、こだわりのある店舗や最先端のカルチャーなど、多種多様なコンテンツの発信による、新たなライフスタイル・働き方など時代の流れに敏感な人たちが集まる街への変化も見られます。
- こうした街の変化を的確に捉えながら今後の街づくりの方向性を示すため、区民の皆さんのご意見等を反映させて整備計画を改定しました。
- 今後、この計画に基づき、地区の将来像「地区の個性を活かした文化の創造ができるまち なかめぐる」を実現していくため、区民・事業者等と連携協力のもと、様々な取組を行っていきます。

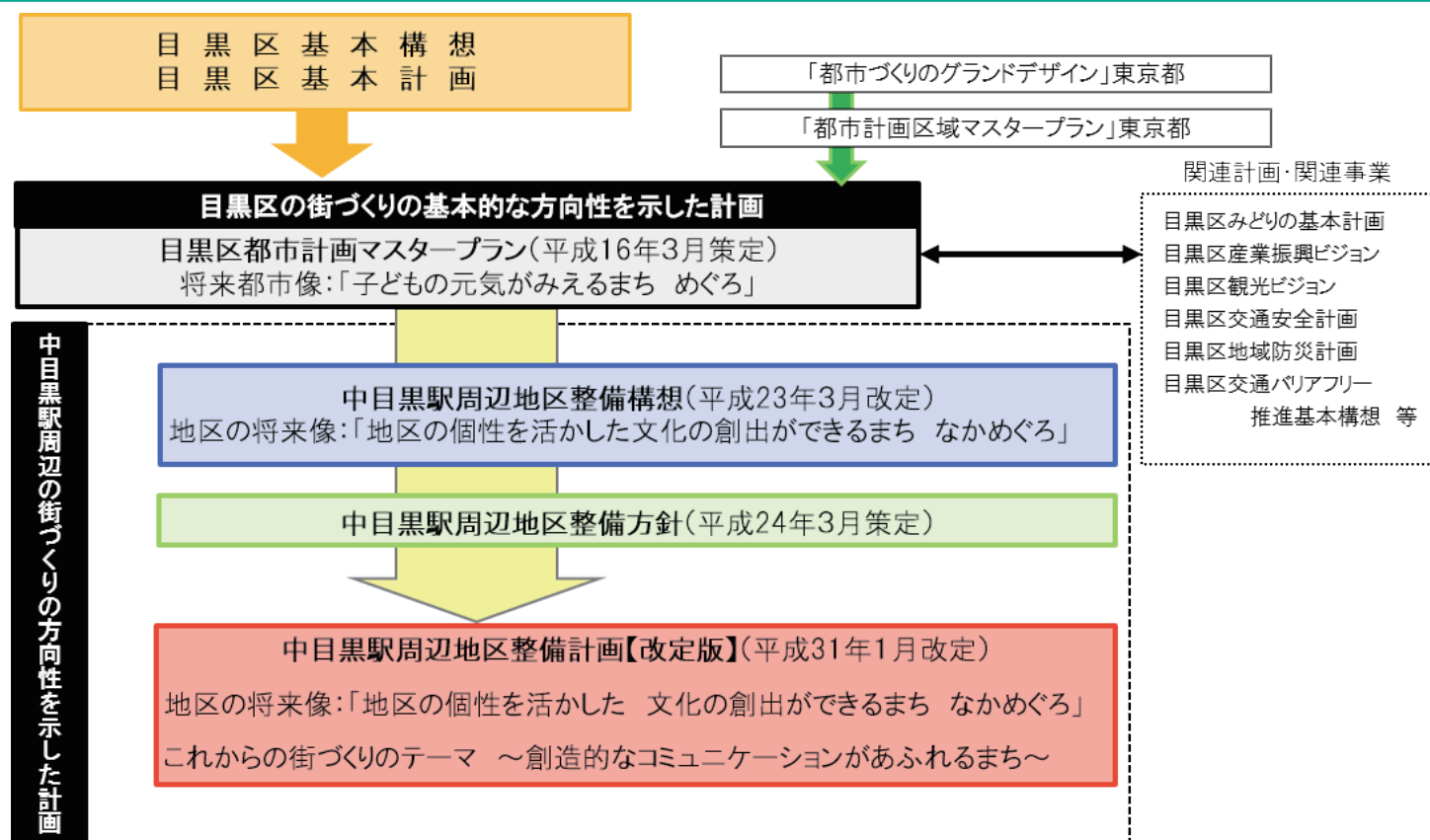
<改定のポイント>

ポイント1 ● 地域関係者等の意向をきめ細やかに反映

ポイント2 ● ソフト分野の充実

ポイント3 ● 周辺地域との連携と幅広い情報発信

計画の位置づけ、対象範囲



- 対象範囲は「中目黒駅」を中心とした概ね半径 500m 圏とします。

これからの街づくりの方向性

人の集まる拠点ごとの魅力をつなぎ、地区の魅力・活力を高める街づくり

活気ある生業の場と、落ち着いた暮らしの場の共存・調和を図る街づくり

文化・芸術を通じて、人々のつながりが生まれる街づくり

子どもからお年寄りまで、誰もが安心して快適に暮らし続けられる街づくり

様々な主体が手を取り合う「なかめスタイル」の街づくり

- 良好な住環境や、地元の賑わいや催しごとなどは、中目黒を愛する住民の手で育まれ、それは街を愛する次世代に引き継がれていくべき大切なものです。
- 中目黒では、様々な価値観と個性が溶け合うことで生まれる、新たな文化とつながりの「種」があります。
- こうした地域の個性を活かし、区民や企業、学生、来街者等が、音楽、美術、デザイン、新たな働き方やライフスタイルなど、多様な文化を創造できるまちの実現を目指します。
- 創造性あふれる街では、人々の間で新しく豊かなコミュニケーションが生まれ、日々の暮らしに潤いと心の豊かさを与えるとともに、街を訪れる人にも街に対する愛着が育まれます。
- 様々な人々と快適な街とが心地よく響き合う、そんな中目黒を目指していきます。